

製品・サービス動向-国内**■SOBA プロジェクト：Web 会議のミエルカクラウド、業界初のパネルディスカッション機能付きセミナーモードを搭載**

(1月16日)

株式会社 SOBA プロジェクト (<https://cloud.soba-project.com/>) (京都市下京区) は、セミナーモード機能を同社のクラウド型 Web 会議「SOBA ミエルカクラウド」に搭載し、1月20日に提供開始。

セミナーモードは、多人数の視聴者に向け映像や音声、PDF 資料、PC 画面などのコンテンツをリアルタイムに配信できるシステム。会議など手軽にナレッジシェアリングを行うことができる、マルチデバイス対応コミュニケーションツールである SOBA ミエルカクラウドをベースに開発された。ただし、ミエルカクラウド本体を契約していなくても使用することができる。

セミナーモードでは、配信者の映像や資料、PC 画面などは表示画面上でパネルとしてそれぞれ独立して表示される。配信者側の画面にはパネルのひとつひとつに「注目ボタン」が配置されており、クリックすることで視聴者側には強制的にそのパネルが拡大表示される。

また、ミエルカクラウドではアカウントを持たないユーザーに対して 48 時間有効なゲストアカウントを付与できる招待メール機能を搭載しており、今回のセミナーモード機能に合わせて、CSV 形式のファイルよりメールアドレスをアップロードできるようになっている。招待メールが多人数向けに配信されることが予想されるため。

今回発表の機能は、さらに手軽により多くの人に向

け情報を発信したいというニーズを受けてミエルカクラウドに搭載された。ユースケースとしては、企業の従業員向け研修、打ち合わせの聴講(パネルディスカッション)、会員向けのレッスン配信など多岐にわたるとしている。

販売価格(税込)：配信者は 5,400 円/ユーザ、視聴者は 1,080 円/ユーザ。最低契約数 10 ユーザ(配信者 1・視聴者 9)。

ビジネス動向-国内**■メディアプラス：Global Presence Alliance 正式メンバー認定**

(2月2日)

株式会社メディアプラス (<http://www.mediaplus.co.jp/>) (東京都千代田区) は、AV システムに豊富な実績を持つ企業間の国際同盟組織 Global Presence Alliance(略称 GPA)の正式メンバー(加盟企業)として認定されたと発表した。

GPA とは、世界 40 の国と地域に原則として各 1 社ずつのメンバーにより構成され、グローバルに展開される顧客の音声、映像、およびコミュニケーションシステムを包括的にサポートするための組織。

メンバーとなる企業は、AV システムやビデオ会議システムなどの設計・構築・保守などの高い技術と豊富な経験が必須となっており、保有する資格のほか、コミュニケーション能力、戦略などにおいて厳しい審査が行われる。

GPA は米国、欧州、アジア太平洋地域に本社を持つグローバル企業の顧客を中心に多くのプロジェクトを

手掛けてきた。メディアプラスは、今後、GPA のメンバーとして、他国のメンバーと協力し、日本に拠点を持つグローバル企業をサポートしていく。

製品・サービス動向-海外

■アマゾン社、クラウド型ビデオ会議サービス「Amazon Chime」を発表

(2月14日)

アマゾン社(米国・ワシントン州)は、ワンクリックで簡単に始められるビデオ会議サービス「Amazon Chime」(アマゾン・チャイム)を発表した。

Amazon Chime は、PC、iOS、Android 端末の間で、ミーティングを開始したり、ミーティングやチャットあるいはコンテンツ・画面共有がシームレスに行え、端末が異なっても、同一のエクスペリエンス(synchronized experience)を提供するビデオ会議サービス。加えて、社内のディレクトリーとの連携が可能とともにシステム管理者向けにユーザ管理や効率的な運用が行えるツールを提供している。

従来の同様なビデオ会議サービスに対して、簡単にコラボレーションできる、“ストレスフリー”のミーティング(frustration-free meetings)を実現している。

始め方は簡単だ。Amazon Chime のサイト <https://chime.aws> にアクセスし、アプリ(a single app)をダウンロードすることで、数分で簡単にサービスの利用を開始できるとしている。会議への参加はアプリのボタンをクリックするだけで PIN コードは不要だ。

映像は HD ビデオに対応し、音声はノイズキャンセラー対応のワイドバンド音声に対応しているため、リアルに近い会話が行えるという。

会議においては、出席者一覧(a visual roster of all attendees)で参加者を把握。遅れてくる出席者は“running late(遅れて会議に参加)”ボタンを押すことで

他の参加者にその旨通知する。つまり、誰が会議室に入ったか、誰が遅れてきたのか、誰が出席できないのかが一目瞭然となっており、しかも、背景雑音(background noise)がどこから来ているかも特定できるとしている。

コンテンツや画面共有は操作権を渡す(pass the ball)ことで誰からも行え、ひとつのコンテンツ共有からアプリケーションへと簡単に切り替えることも可能。ミーティングと並行してチャットルームでチャットを行い、チャットの履歴やファイルも安全に保存できる。

Amazon Chime は複雑な導入手続きや運用管理の煩雑さはないとしている。提供プランは「Amazon Chime Basic Edition」「Amazon Chime Plus Edition」「Amazon Chime Pro Edition」の3つのプランを提供する。従来と同様のサービスの1/3のコストで利用可能という。

プレスリリースによると、サービスは2017年第二四半期より、AWSのAPNパートナーであるLevel3とVonage社から提供されるという。

※(CNAレポート・ジャパン補足)日本でのサービス開始に関する情報は明記されていない。

ビジネス動向-海外

■Fuze社：1億400万ドルの増資を実施、国際事業の拡大や製品開発強化へ

(2月8日)

UcaaSプラットフォームを提供するFuze社(<https://www.fuze.com/>) (米国・マサチューセッツ州)は、1億400万ドルの増資を実施。なおCRUNCBASEによるとシリーズEに相当する。

今回の増資は、Wellington Management Company LLPを筆頭にGreenspring Associates、Summit Partners、Bessemer Venture Partners(BVP)、G20が出資した。今回の資金を元手に、国際事業の展開や製品開発をさらに加速する。なお、今回の増資を含み、

これまでベンチャーキャピタルより総額3億ドルの出資を獲得したことになる。

2016年を振り返ると、UcaaSプラットフォームのユーザエクスペリエンス（UX）を刷新。これにより記録的な成長にともなう、国際事業の拡大や市場での認知の向上を実現したとしている。また、セールスが90%伸び、ナショナルジオグラフィックを含む新たに449社の顧客を獲得した。上位10社の顧客からの売上は7,100万ドルの価値があるとしている。

一方、アジア太平洋地域の事業拡大の一環として、新たにシドニーオフィス、また、香港、シンガポール、シドニー3か所にデータセンターも開設した。同社のオフィスは、マサチューセッツ州のケンブリッジを本社に、ニューヨーク、サンフランシスコ、シアトル、オタワ、ロンドン、アムステルダム、アヴェイロ（ポルトガル）、パリ、ミュンヘン、チューリッヒ、マドリッド、コペンハーゲン、シドニーとなる。

CRUNCHBASE：Fuze

<https://www.crunchbase.com/organization/fuze#/entity>

Report

※CNAレポート・ジャパン橋本啓介による検証・取材レポート

■ブイキューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の“簡単さ”を検証する

<https://blog.vcube.com/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>

■ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（前編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-1>

■ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証（後編）

<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-2>

■パイオニアVC：“ものづくり”の現場を支える、遠隔コラボレーションシステム「xSync Prime Collaboration」取材レポート

<https://blog.vcube.com/xsync-prime-collaboration.html>

PR

（広告掲載順）

■ヤマハ株式会社

（USBスピーカーフォン FLX UC 500）

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■株式会社メディアプラス

（ビデオプラットフォーム Pexip Infinity、VMR 運用ツール VMR オペレータ）

<http://www.mediaplus.co.jp/products/Pexip/>

■株式会社ブイキューブ

（テレビ会議システム V-CUBE Box）

<https://jp.vcube.com/service/box/>

■日立ハイテクソリューションズ

（Vyopta ビデオコラボレーション解析・レポートサービス）

<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/index.html>

※同社ビデオ会議ソリューションの情報を掲載したサイト。

Vyopta に関する情報は後日予定。

セミナー・展示会情報

<国内>

■失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー ～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方をデモを交えてご紹介～

日時：2月・3月

会場：東京都・大阪府・愛知県

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：

<https://jp.vcube.com/event/seminar/201606151900.html>

※その他セミナー情報：<https://jp.vcube.com/event/seminar/>

■Skype for Business との連携で挑む、効率的な会議への改革

東京：日時：2月20日(月) 14:00～16:00(受付：13:30～)

会場：日本マイクロソフト 品川本社

大阪：日時：2月24日(金) 14:00～16:00(受付：13:30～)

会場：日本マイクロソフト 関西支店

主催：ソフトバンク株式会社

共催：日本マイクロソフト株式会社、ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：

<https://softbanktelecom.smktg.jp/public/seminar/view/386>

■Web 会議システム 事例紹介/トラブル解決セミナー

[ゲスト講演：ヤマハ株式会社]

日時：2月22日(水) 15:30～17:30 (受付：15:00～)

会場：キヤノン IT ソリューションズ 本社

主催：キヤノン IT ソリューションズ株式会社

詳細・申込：<https://reg.canon-its.co.jp/public/seminar/view/354>

■「ビデオ会議をもっと自由に -簡単!もっと広がる新しいクラウド型会議サービス」

日時：3月7日(火) 10:00～

会場：オンラインセミナー (自席の PC から参加)

主催：ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：

<http://response.polycom.com/01-JP-E-PS-2017-Q1-PolycomWebinar-JA-LP>

※講演者：ソフトバンク株式会社クラウドサービス統括部

プロダクト企画部 部長 鈴木 邦佳 氏

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回(プレスリリースと取材に基づく記事)ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック (遠隔会議&UC トレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter (CNA レポート・ジャパン)

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト (dte-forum)

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2017年2月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp